

VIII キャリアラダー

保育士業務における役割の5つの領域		職層	主事	主任	主査・係長(副園長等)	課長補佐(園長)	課長
			自覚 (基本理解・実践)	自立・実施 (クラス運営)	リード (他者支援・推進)	園運営 (園運営・市調整)	市 (発信・次世代育成)
子どもとの関わり (保育実践)		人権への配慮 子どもの主体性 発達理解 計画立案 健康、安全管理 環境設定 多様な保育	・愛情をもって子どもに接し、信頼関係を築く ・ありのままの姿を受け止め、一人ひとりの思いに寄り添う ・子どもが主体的な遊び、生活を生み出せるよう援助する	・子どもの発達過程や特性を考慮し、職員間で連携しながら子ども相互の関係や共同的な活動を促す保育を実践する	・子ども一人ひとりの人権・人格を尊重した保育に対する助言指導を行う ・「武蔵野市保育のガイドライン」に基づく保育を園全体で実践する	・子どもの発達の連続性や切れ目ない支援を踏まえ、助言・指導を行いながら園運営を行う	・子ども一人ひとりの人権・人格を尊重した保育が市全体で展開されるよう推進する ・子どもの発達の連続性や切れ目ない支援を踏まえた施策を推進する
			・子どもの発達段階や特性を理解し、保育の計画・実践・評価・改善を行う	・発達の理解を踏まえた保育展開、環境設定を行いクラスを運営する ・見通しを持った具体的な指導計画を立案・記録し、評価・修正を行う	・各クラスの保育を把握し、発達の連続性を踏まえた指導計画の立案や実践についての助言・指導を行い、園全体の実践力を高める	・「武蔵野市保育のガイドライン」、子どもの権利条例等を踏まえた全体的な計画を作成する ・子どもの発達の連続性や切れ目ない支援を踏まえ、指導・助言を行いながら、園を運営する	・子ども一人ひとりの人権・人格を尊重した保育が市全体で展開されるよう推進する ・子どもの発達の連続性や切れ目ない支援を踏まえた施策を推進する
保護者との関わり		家庭との連携 保護者同士のつながり 養育困難家庭への支援	・健康、安全に関するマニュアルを把握し、保育を行う ・子どもの発達や特性に応じた保育環境を把握する	・リスクを分析し、健康・安全な保育のため、職員間などで連携を図りながら、準備や対応を行う ・子どもの発達や特性に応じた保育環境を構成する	・総合的な視点をもって園全体の環境を構成、改善する ・健康、安全に対する判断、指示を行う ・幅広い視野や経験からリスクを分析し、園全体や地域の健康・安全な保育の構成を行う(マニュアルの再考)	・子どもたちの主体性、生きる力を育む豊かな保育実践ができる環境を園全体で構成する ・幅広い視野や経験からリスクを分析し、園全体や地域の健康・安全な保育の整備を行う ・健康・安全の対応について、的確な判断、指示を行う	・社会情勢、社会問題を視野に入れた市全体の子どもへの健やかな成長のための施策を行う
			・多様な子どもたち(障がいのある子どもや医療的ケアが必要な子ども、外国籍の子どもなど)の特性や思いを理解し、それぞれが安心して自己表現できるように援助する	・職員間で連携しながら、多様な子どもたちが心地よく自己表現できるように援助する ・配慮が必要な子どもに対する専門性を高め、実践する ・保育を通して子どもたちが互いを認め合える関係をつくる	・専門性や経験を生かし、多様な子どもたちの特性や状況、家庭背景に応じ、一人ひとりが心地よく過ごせるよう園全体の調整や支援を行う	・市の状況を把握し他機関と連携を図りながら、多様な子どもたちの特性や状況に応じた対応を組織的に行う	・国や都の最新情報や市の子育て困難家庭の状況やニーズを把握し、施策を推進する ・園と市と関係機関が円滑な連携が取れる仕組みを整備する
地域との関わり		地域連携 (他機関連携) 子育て支援事業 緊急一時 災害時の拠点	・日々のコミュニケーションの中で、保護者の思いをくみ取り、信頼関係を築く ・保育に関する情報を発信・共有する	・保護者との信頼関係のもと、必要に応じ、専門的な視点から保護者へ助言や情報提供を行う	・園の保護者の特性や状況を把握し、職員の保護者対応について、助言や支援を行う ・園のルールの根拠を職員間で共通認識し、統一的な対応や説明ができるようにする	・保護者の意見を把握し、課題に対して組織的に解決につなげる ・園の方針を保護者に発信する	・国や都の最新情報や市の子育て困難家庭の状況やニーズを把握し、施策を推進する ・園と市と関係機関が円滑な連携が取れる仕組みを整備する
			・(行事等を通じて)保護者同士のつながりの大切さを理解する ・懇談会等の目的や内容を理解し、実行する	・保護者同士が子育て仲間としてつながれるように働きかける ・懇談会等をクラスで運営していくため企画・実行する	・保護者同士が子育て仲間としてつながれるように組織的に計画する	・保護者同士が子育て仲間としてつながれるように組織的に推進する	・国や都の最新情報や市の子育て困難家庭の状況やニーズを把握し、施策を推進する ・園と市と関係機関が円滑な連携が取れる仕組みを整備する
行政保育士としての役割		地域連携 (他機関連携) 子育て支援事業 緊急一時 災害時の拠点	・保護者の異変やSOSに気づき、受容的に相談を受ける ・適切に対応できるようクラスリーダー等に共有する	・保護者の背景や状況を理解し、職員間で連携しながら対応方法を検討し、必要な支援を行う ・必要に応じて園長・副園長に対応をつなぐ	・保護者の背景や状況を理解し、職員間で対応を検討し、園長とともに対応する ・根拠となる関連法令や機関の情報を把握する	・園内外の協力体制をつくり、課題解決に向けた具体的な取組支援を促す ・根拠となる関連法令をもとに説明し、必要な対応を行う	・市内の保育・教育施設の中核園として、幼稚園・保育園・小学校との連携を図り、切れ目ない支援につなげる
			・地域住民や近隣保育施設等と日常的に交流を行う ・市内の保育・教育施設の中核園としての役割を理解する	・連携保育施設と日常的に保育の交流を図り、友好的な関係を築く ・市内の保育・教育施設の中核園としての役割を自覚し積極的に情報交流を行う	・市内の保育・教育施設の中核園として、連携保育施設と日常的に保育の交流を行い、必要な支援を行う	・市内の保育・教育施設の中核園として、幼稚園・保育園・小学校との連携を図り、切れ目ない支援につなげる	・市内の保育・教育施設の中核園と市と情報を共有し、連携を図り、市内全体の子育て支援事業を整備する
チームマネジメント・組織・保育士の資質		緊急一時保育の受入れ児童の状況や特性を把握し、保育を行う	・緊急一時保育の受入れ児童の状況や特性を把握し、保育を行う	・緊急一時保育の受入れ児童の状況や特性を把握し、保育を行う	・緊急一時保育の受入れを行い、保護者や児童の状況や特性を把握し、保育体制を整備する	・緊急一時保育の受入れを行い、詳細な保護者や児童の状況や特性を把握し、必要に応じ他機関との連携を図る	・市内の福祉避難所の管理運営を統括する
		災害時、福祉避難所として、必要な知識を得る、自分の役割を遂行する	・災害時、福祉避難所として、必要な知識を得る、自分の役割を遂行する	・災害時、福祉避難所として園内で連携を図りながら自分の役割を遂行する	・災害時に福祉避難所として開設・運営を行う	・自園の福祉避難所の管理運営を統括する	・市内の福祉避難所の管理運営を統括する
チームマネジメント・組織・保育士の資質		研修を通して市の政策、方針を知る ・公務員としての服務規律を理解する ・守秘義務を理解し遂行する	・研修を通して市の政策、方針を知る ・公務員としての服務規律を理解する ・守秘義務を理解し遂行する	・担当業務の課題把握・理解を深め、業務の企画・参画を行う ・市役所職員としての文書作成の知識を把握するよう努める	・市民ニーズを捉えて、施設内での新たな業務の企画・実行をする ・市役所職員としての文書、例規、財務、人事の知識を理解を深める	・国・都の動きや市民ニーズを捉えて、必要な新たな業務の企画を精査し、実行・評価する	・市の長期計画、子どもプラン、施設方針や児童福祉の関連法令を根拠に、必要な施策を準備、推進する
		情報発信ツールを活用して情報発信を行う	・子育て家庭の状況やニーズを把握し、相手が受け取りやすい方法を工夫して発信する ・情報発信後の反応・成果を分析する	・子育て家庭が保育サービスなどの情報を把握しやすいシステムの整備を行う ・発信後の分析をもとに、必要な部署への連携を図り、事業内容を深める	・子育て家庭が保育サービスなどの情報を把握しやすいシステムの整備を行う ・発信後の分析をもとに、必要な部署への連携を図り、事業内容を深める	・保育の専門性や経験を生かし、必要な情報を子育て世帯や市内の関係部署に発信・調整を行う	・子育て世帯へ向けた幅広く、必要な武蔵野市の情報を発信する
チームマネジメント・組織・保育士の資質		子どもの権利条例の理解を深める	・子どもの権利条例の理解を深める	・子どもの権利条例の理解に基づく保育を行い、保護者や市民に発信する	・子どもの権利条例の理解をし、園全体の支援につなげる	・子どもを取り巻く現状を把握し、権利擁護の視点、行政の幅広い知識をもとに、他機関との連携を推進する	・保育園で必要となる子どもの権利条例の理念・考え方を示す
		・保育実践を振り返り、職員間で語り合う中で、視野を広げる ・自らの役割と課題を認識し、チームの一員として業務を遂行する ・業務の優先順位を考慮し、段取りをつけて、効率・効果的に業務を遂行する	・保育実践を振り返り、職員間で語り合う中で、視野を広げる ・自らの役割と課題を認識し、チームの一員として業務を遂行する ・業務の優先順位を考慮し、段取りをつけて、効率・効果的に業務を遂行する	・経験の浅い職員等、周りの職員への支援を行い、様々な状況に応じて連携を図る調整役を果たす	・職員が働きやすい環境を構築し、維持すると共に園長の補佐を行う ・業務の効率化を工夫し、職員の負担が過度になりすぎない仕組みを整える	・組織をまとめ、職員一人ひとりのスキルとチーム力を高め、円滑な園運営を行う ・保育士一人ひとりの特性や能力を生かしながら、保育の質向上を図るための意義を啓蒙する ・組織内の安全な環境を整備し、危機管理の責任を担う ・組織内の人事管理を行う ・園の方針を策定する(年度ごと)	・武蔵野市の保育・幼児教育施設の質の向上を実現する ・市全体や各園の状況を捉え、円滑な園運営ができるよう人材配置を行う
チームマネジメント・組織・保育士の資質		・他職員とともに保育力を磨く ・職員間の情報共有や連携の大切さを理解し、チームの一員として協力し合いながら業務を遂行する ・困りごとや助けを周りに発信し、職員間で共に考え合いながら、知識や経験を積む	・他職員とともに保育力を磨く ・職員間の情報共有や連携の大切さを理解し、チームの一員として協力し合いながら業務を遂行する ・困りごとや助けを周りに発信し、職員間で共に考え合いながら、知識や経験を積む	・職員間で円滑なコミュニケーションを図り、働きやすい職場環境づくりを行う ・職場内で自分の意見を発信し、周りの意見とすり合わせながら、お互いに支え合える関係を築く	・組織に基づいた判断や対応を行い、園の中心役割を担いながら、チーム力を高める ・職員が相談しやすい環境を整える ・園長と職員のパイプ役となる	・園全体のチームワークの向上を推進する(一人ひとりを認め合う集団づくり) ・園全体の職員の状況を把握し、対話的な関係を構築する	・職員一人ひとりの状況や特性を把握する ・組織の目標を定めメンバー(園や課)と共有する
		・保育の楽しさを感じながら、前向きに業務に取り組む ・様々な研修に主体的に参加し、保育の技術の向上を図る ・ジョブローテーションを理解し、幅広い視野を持つ	・保育の楽しさを感じながら、前向きに業務に取り組む ・様々な研修に主体的に参加し、保育の技術の向上を図る ・ジョブローテーションを理解し、幅広い視野を持つ	・保育実践から更なる専門性を高める学びを深めていく ・職員間の学び合いの機会を企画、実行し、職員全体のスキルアップを図る ・新たな成長のために保育園に留まらない幅広い経験を積む	・職員間で相談しながら、必要な研修の機会を提供する ・一人ひとりの保育士の良さを伸ばしていく視点をもち、職員が働きやすい、相談しやすい環境を構築する	・必要な研修の機会を設け、園全体の保育の質向上を図る ・日々の業務や初期面接・終期面接等の機会をとり、指導・育成を行う ・自らも学び、メンバーに発信していく	・市職員として必要な研修を提供し、行政保育士としての全体の質向上を図る